

# 消防統計

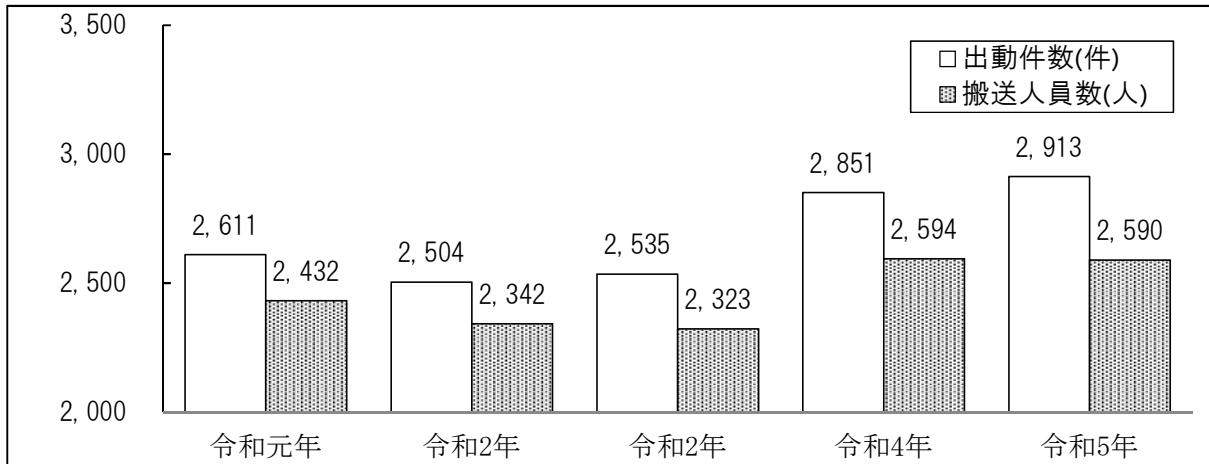
(光市の救急と火災)

令和6年1月1日～令和6年9月30日

光地区消防組合消防本部

## 救急統計

図1 5年間の救急出動件数の推移



○参考：人口1万人あたりの救急出動件数の比較（過去5年）

単位：件

区分\年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
光市	508.3	502.8	509.1	572.5	585.0
山口県	490.6	468.9	490.2	556.0	584.3
全国	522.7	470.5	491.0	573.1	605.5

※全国の数値は、「救急救助の現況（消防庁）」の数値を引用。（令和4年を除く。）他の数値は、国勢調査の人口で算定。

※光市の人口1万人あたりの救急出動件数が全国を上回った年は、数値を太字で表示しています。

表1 事故種別出動件数及び搬送人員

単位：件、人

事故種別	期間		令和6年1月～9月		令和5年1月～9月		対前年比増減数	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
急 病	1,534	1,310	1,449	1,260	85	50		
交通事故	93	87	82	70	11	17		
一般負傷	312	281	302	282	10	△1		
加 害	1	1	2	1	△1			
自損行為	12	6	16	9	△4	△3		
労働災害	36	34	35	35	1	△1		
運動競技	17	18	12	12	5	6		
火 災	1	1	1	1				
水 難	4	2	2	1	2	1		
自然災害								
転院搬送	277	276	295	293	△18	△17		
医師等搬送								
資機材輸送								
その他の搬送	12		4		8			
合 計	2,299	2,016	2,200	1,964	99	52		

表2 年齢区分別搬送人員

単位：人

年齢区分	期間		令和6年1月～9月		令和5年1月～9月		対前年比 増減数
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	
新生児	9	0.4	17	0.9			△8
乳幼児	80	4.0	66	3.4			14
少年	51	2.5	48	2.4			3
成人	406	20.1	426	21.7			△20
高齢者	1,470	72.9	1,407	71.6			63
合計	2,016	100	1,964	100			52

※割合の算出に当たっては、単数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

※年齢区分は右のとおり。

- 新生児～生後28日未満
- 乳幼児～生後28日以上満7歳未満
- 少年～満7歳以上満18歳未満
- 成人～満18歳以上満65歳未満
- 高齢者～満65歳以上

表3 傷病程度別搬送人員数

単位：人

傷病程度	期間		令和6年1月～9月		令和5年1月～9月		対前年比 増減数
	搬送人員数	構成比(%)	搬送人員数	構成比(%)	搬送人員数	構成比(%)	
死亡	42	2.1	32	1.6			10
重症	56	2.8	52	2.6			4
中等症	970	48.1	945	48.1			25
軽症	948	47.0	935	47.6			13
合計	2,016	100	1,964	100			52

※割合の算出に当たっては、単数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

※傷病程度は右のとおり。

- 死亡～初診時において死亡が確認されたもの
- 重症～傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症～傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽症～傷病の程度が入院を必要としないもの

表4 救急医療電話相談（#7119）の利用状況

単位：件

年度	月												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和5年	22	23	24	18	31	19	34	37	16	21	24	22	291
うち救急要請件数	2	2	5			3	4	5	1		4	3	29
令和6年	24	26	25	41	44	45	74	59					338
うち救急要請件数	3	4	3	5	7	8	5	3					38

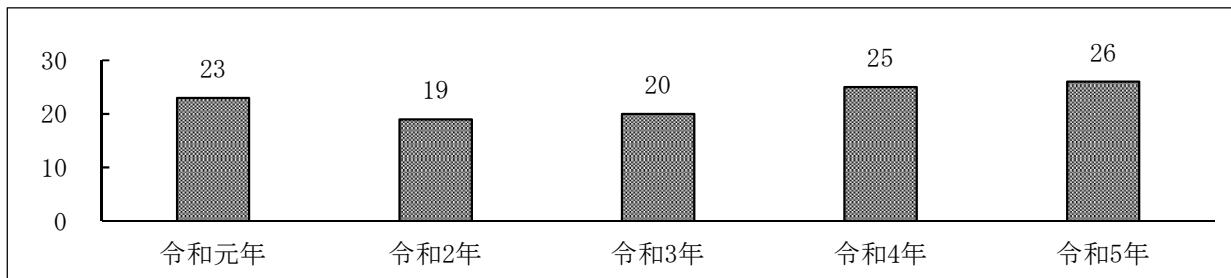


救急医療電話相談とは、「急な病気やケガをした時に、「救急車を呼んだほうがいいのか?」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか?」迷った際の電話相談窓口です。

#7119にダイヤルすると、看護師等が24時間いつでも相談に応じます。  
ご家族やお知り合いの方などへご利用をお勧めください。

## 火災統計

図2 5年間の出火件数の推移



○参考：出火率の比較（過去5年）

区分／年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
光市	4.48	3.82	4.02	5.02	5.22
山口県	3.71	3.74	3.53	4.50	4.43
全国	2.96	2.73	2.78	2.89	3.08

※出火率：人口1万人当たりの出火件数（光市が全国の数値を上回った年は太字で表示）

※全国及び山口県の数値は、「火災の状況（消防庁）」の数値を引用。（令和5年は概数）

※光市の人口：令和元年は平成27年国勢調査の結果（51,369人）、令和2年以降は令和2年国勢調査の結果（49,798人）。

表5 出火件数

火災種別	期間	令和6年1月～9月	令和5年1月～9月	対前年比増減数
建物火災		5	4	1
林野火災		2	3	△1
車両火災			1	△1
その他の火災		10	7	3
合計		17	15	2

※「その他の火災」とは、建物火災、林野火災、車両火災、船舶火災及び航空機火災以外の火災（例：田畠、河川敷等で枯れ草が焼損した火災、軌道敷の枕木が焼損した火災）

表6 建物火災のり災状況

区分	期間	令和6年1月～9月	令和5年1月～9月	対前年比増減数
焼損棟数	全焼	1	3	△2
	半焼			
	部分焼			
	ぼや	5	2	3

	合 計	6	5	1
	損 害 額 (千円)	調査中	15,006	-
死傷者	死 者 数		2	△2
	負傷者数	1	1	
	り 災者数	調査中	5	-

※「全焼」とは、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

※「半焼」とは、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

※「部分焼」とは、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。

※「ぼや」とは、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

図3 原因別 出火件数 (令和6年1月～9月)

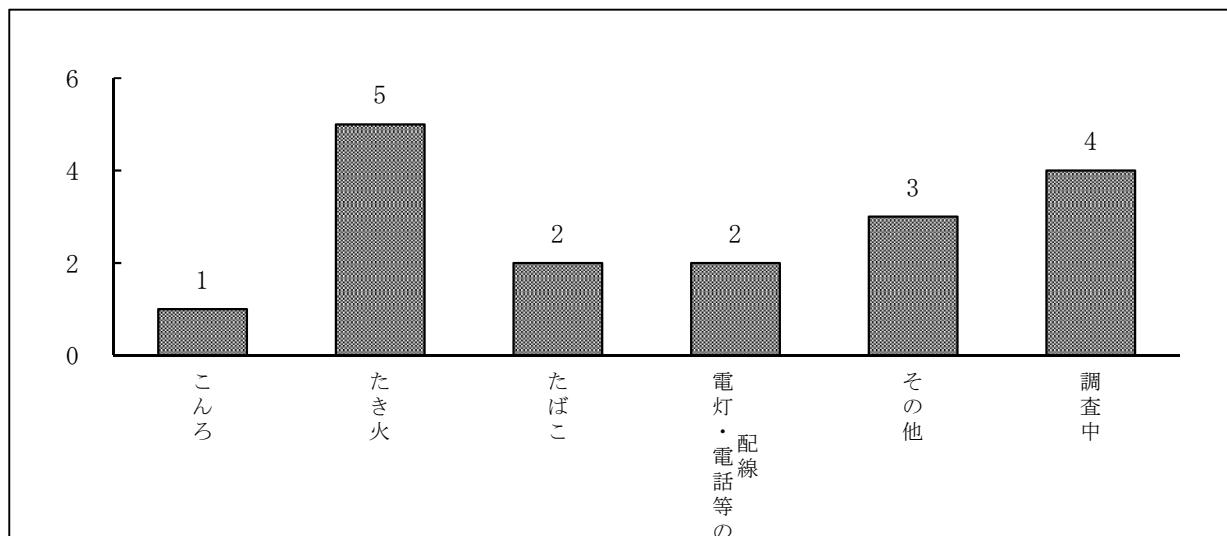


図4 月別 出火件数 (令和6年1月～9月)

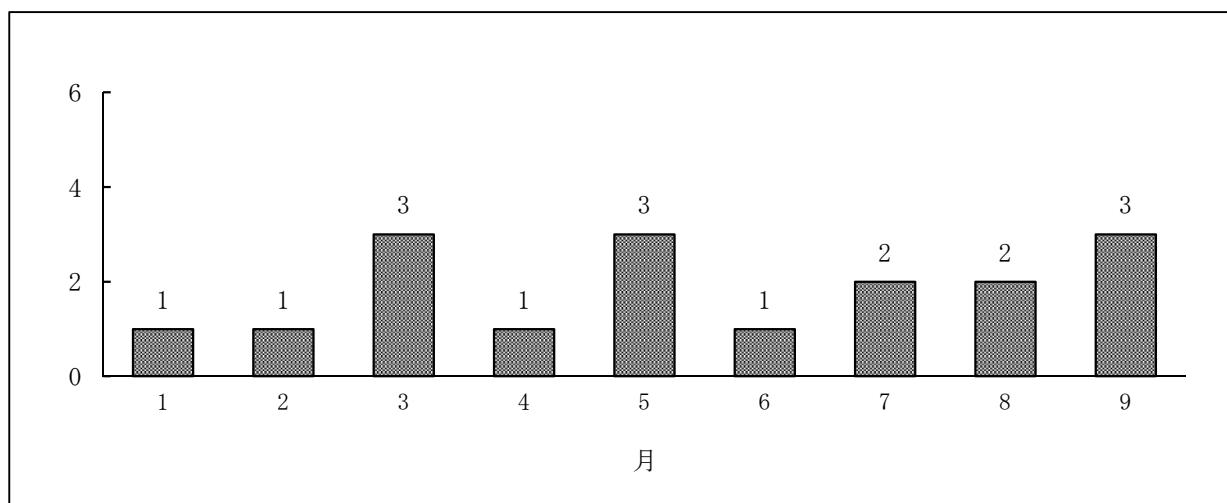


図5 時間帯別 出火件数（令和6年1月～9月）

